

# エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 9, No. 2 (通巻No. 53) 2017年6月12日

部会ニュースNo. 53をお届けします。内容は、平成29年度第2回幹事会の議事概要です。

**本年度のエレクトロニクス部会シンポジウムの概要が決定しました！**

## ■平成 29 年度第 2 回幹事会議事概要

平成 29 年 (2017 年) 度第 2 回幹事会

日時：平成 29 年 6 月 5 日(月) 14:00-17:00

場所：住友ベークライト(株) 本社 会議室

出席者：近藤部会長，横沢副部会長，嘉田幹事，高木幹事，武野幹事，吉野幹事，及川幹事 の 7 名

### 1. 前回議事録の承認

承認されました。

### 2. 会計報告

平成 29 年 (2017 年) 度 4～5 月度の会計報告があり，承認されました。詳細は、資料-1 をご参照ください。また部会員各位の年会費納入状況の確認があり，数名の未納者がいることが確認されましたので対応を行っています。

### 3. 会員異動、幹事名簿確認

化学工学会誌の編集委員を，岡本幹事から瀧幹事に変更することが承認されました。また，政木幹事の退任と，石井幹事のご逝去による退任が承認されました。

### 4. 平成 29 年度エレクトロニクス部会シンポジウムについて

テーマ「革新的プロセスによる有機高密度配線技術 ～FOWLPLP, PLF, コアレス～」にふさわしい講演者を選定しました。詳細は，確定次第別途会員宛にご案内します。

■日時 2017 年 8 月 28 日 (月) 13:00～

■場所 東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール

■講演タイトル

現在下記の 4 講演を調整中であり，さらに海外からの招待講演を 1 件，計画しています。

- ・FOWLPLP の開発動向
- ・再配線技術を利用した半導体パッケージの開発動向
- ・ビア形成技術とコアレスプリント基板用樹脂の開発動向
- ・低線膨張銅メッキ液の開発と事業化
- ・(海外からの招待講演を 1 件予定)

## 5. 部会活動活性化について

- ①29年度部会シンポジウム開催にあたり、部会積立金の一部を適用することが提案され、承認されました。
- ②武野幹事より提案のあった「IoT 実装材料と装置開発コンソーシアムを考える分科会設立趣意書」について議論を行いました。部会の中にワーキンググループを作り、特定分野に絞らず、実装、材料、装置、プロセス全般について取り扱うプラットフォームに関するゴールイメージや活動内容について詳細を議論することになりました。ワーキンググループへの参加者は、幹事及び部会員有志と、外部の有識者から募ることになりました。詳細は、別途ご案内します。

## 6. 次回幹事会予定

平成29年（2017年）8月29日（火）14:00から、住友ベークライト(株)本社会議室にて開催されます。次回の進行役は横沢幹事が努めます。

### ■ 幹事会講演会

産業技術総合研究所産業技術総合研究所 池田伸一博士（ナノエレクトロニクス研究部門）より、「ミニマルファブ構想と開発課題」について講演がありました。

### ◇ 講演内容

ミニマルファブでは、「最小の製造単位をもつ半導体製造工場」を目指し、ハーフインチ（12.5mmφ）のシリコンウェハを使用したプロセス開発を行っている。ミニマルファブでは、工程間をクリーントンネル通るシャトルによりウェハ搬送するためクリーンルームが不要となる特徴があり、また規格化された装置で開発から製造まで同じ環境で対応出来ることから、数億円規模の投資で開発ラインからシームレスに（いわゆる「死の谷」を経ずに）量産製造ラインに移行することが視野に入る。このようなミニマルファブは少量多品種の製造に強みがあり、年間10万チップ以下のアプリケーションが主なターゲットである。具体的には、従来型の大量生産で製造される汎用品では対応しきれない、特殊な半導体チップや受動部品、MEMSデバイス市場などを想定している。このような分野の市場規模はすべて合わせるとおよそ20兆円と言われており、最先端の半導体市場に匹敵する規模である。講演では、ミニマルファブのコンセプトの他、具体例としてイオン注入やCVD、パッケージングに関する開発状況や課題の紹介があった。また、現在は最小線幅1μm程度のマスクレス露光技術を使用しているが、並行して電子ビームリソグラフィを用いた微細プロセスの開発を行っており、将来は適用可能な製品の幅を広げる予定である。

以上

■資料1

平成29年4月～5月会計報告

1. 前回残高（平成29年3月末）

口座残高	<u>2,240,650</u> 円 ①
積立金	<u>2,200,000</u> 円
実質残高	<u>40,650</u> 円

2. 今回収入と支出

項目	日時	内容	金額 (円)
収入	2017/4/18	4/13第1回幹事会・技術交流会(@3K×7名)	21,000
	2017/4/18	年会費（個人賛助会員）	5,000
	2017/5/10	年会費（個人賛助会員）	5,000
<b>収入計</b>			<b>31,000</b> ②
支出	2017/4/18	4/13第1回幹事会費用	3,000
	2017/4/18	4/13第1回幹事会・技術交流会(@3,995×7名)	27,965
	2017/4/18	4/13第1回幹事会旅費	30,116
	2017/4/18	4/13第1回幹事会旅費	1,716
	2017/4/18	4/13第1回幹事会旅費	31,532
<b>支出計</b>			<b>94,329</b> ③
月次収支			△ 63,329 ②-③
全体収支 ①+②-③			<b>2,177,321</b> ④

3. 残高（平成29年5月末）

口座残高	<u>2,177,321</u> 円 ⑤
積立金	<u>2,200,000</u> 円
実質残高	<u>△ 22,679</u> 円

④の全体収支と、⑤の口座残高（平成29年5月末現在）が一致していることが確認された。